

中期財政計画（平成27年度～29年度）を策定しました！

中期財政計画とは？

鹿児島市上下水道事業経営計画の経営理念である「市民生活を未来まで支える上下水道」の実現のために、今後3年間（平成27～29年度）の収入・支出の予定額を算出することにより、経営状況を把握し、効率的かつ計画的な事業運営を行うための指針となるものです。

計画策定にあたって

節水機器の普及やライフスタイルの変化などにより、水需要の減少が続いており、その傾向は今後も続いていくものと思われます。厳しい経営環境の中で、水需要に見合った施設能力適正化や施設・管路の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減に取り組むなど、整備拡充から維持管理へと事業の枠組みの見直しを行っているところです。

上下水道事業は、市民生活を支える基本インフラであり、持続可能な経営を実現し、将来にわたって安定したサービス提供を続けていく使命を負っています。このため、これらの経営課題と時代の要請を踏まえて、効率的かつ計画的に経営を推進していくための実施計画として中期財政計画を策定しました。

財政計画

※四捨五入のため、各表の計が異なることがあります。

水 道 事 業

（業務量の予測）

項 目	単位	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
給 水 人 口	万人	58.4	58.4	58.3
給 水 件 数	万件	30.1	30.3	30.6
年間総給水量	万 m ³	6,493.9	6,440.3	6,393.8
年間総有収水量	万 m ³	5,969.7	5,923.9	5,890.4

（収益的収支）

（億円：税込）

項 目	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
収益的収入	122.4	121.3	120.5
営 業 収 益	113.0	111.9	110.8
営 業 外 収 益	9.4	9.4	9.8
収益的支出	113.3	110.6	110.8
営 業 費 用	100.2	98.1	99.1
営 業 外 費 用	13.0	12.4	11.5
そ の 他	0.1	0.1	0.1
消費税調整額等	2.5	2.7	2.8
純 利 益	6.6	8.0	6.9

（資本的収支）

（億円：税込）

項 目	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
資本的収入 A	27.8	28.9	28.9
内部留保資金 B	48.4	48.3	48.7
A + B	76.2	77.2	77.6
資本的支出	76.2	77.2	77.6
建設改良費	44.4	46.7	46.7
企業債償還金	31.6	30.3	30.7
そ の 他	0.2	0.2	0.2

公共下水道事業

（業務量の予測）

項 目	単位	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
処 理 人 口	万人	47.1	47.2	47.3
処 理 件 数	万件	24.8	25.0	25.3
年間総処理水量	万 m ³	6,094.6	6,039.1	5,996.3
年間総有収水量	万 m ³	5,594.8	5,562.0	5,540.6

（収益的収支）

（億円：税込）

項 目	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
収益的収入	90.4	88.7	86.2
営 業 収 益	64.9	64.4	64.0
営 業 外 収 益	25.5	24.3	22.2
収益的支出	86.0	85.2	83.5
営 業 費 用	77.5	77.1	76.0
営 業 外 費 用	8.4	7.9	7.4
そ の 他	0.1	0.1	0.1
消費税調整額等	1.1	1.0	1.2
純 利 益	3.3	2.5	1.5

（資本的収支）

（億円：税込）

項 目	27年度 計 画	28年度 計 画	29年度 計 画
資本的収入 A	22.6	22.9	24.9
内部留保資金 B	27.4	23.0	20.0
A + B	50.0	45.9	44.9
資本的支出	50.0	45.9	44.9
建設改良費	26.3	26.7	29.0
企業債償還金	23.7	19.2	15.9
そ の 他	0.1	0.1	0.1

○有収水量とは
⇒水道料金や下水道使用料の徴収の対象となる水量のことをいいます。給水件数や処理件数の増加を見込んでいますが、一人当たりの使用水量の減少に伴い、年間総給水量や年間総処理水量及び年間総有収水量は減少すると見込んでいます。

○収益的収支とは
⇒水道水をお届けしたり汚水をきれいにするために必要な経費と財源のことです。
[収入:水道事業の大部分は水道料金収入、公共下水道事業は下水道使用料収入のほか市からの補助金等です。支出:施設の維持管理費用のほか借入金の利子や減価償却費です。]

○資本的収支とは
⇒施設を整備拡充するために必要な経費と財源のことです。（差額は、内部留保資金で補てんします。）

主な取組み

安全で良質な水の安定供給 【水道】	良好な水環境と快適な生活環境の確保 【公共下水道】	災害など危機に備える上下水道 【共通】
◇施設能力適正化の取組（ダウンサイジング） ◇水道管路情報データ活用 ◇水道管路改良事業 ◇老朽施設更新事業	◇処理場の統廃合 ◇下水道管路情報データ活用 ◇汚水管路施設整備事業 ◇処理施設・管路施設の長寿命化	◇水道施設の耐震化 ◇水道管路の耐震化 ◇処理施設の耐震化 ◇汚水管路の耐震化
環境にやさしい上下水道 【共通】	お客さまの視点に立った質の高いサービスの提供 【共通】	経営基盤の強化 【共通】
◇省エネルギー技術導入事業 ◇下水污泥堆肥化事業 ◇水の環境学習の推進	◇宅地内漏水調査委託業務 ◇お客さまへの広報 ◇水道モニター事業 ◇経営審議会運営事業	◇建設改良積立金の確保 ◇企業債残高の縮減